

## 歴史的建造物整備活用検討部会名簿

役職	氏名	団体名
会長	高橋 総一郎	富岡製糸場を愛する会
担当副会長	井上 澄男	しのめ信用金庫
部会長	赤石 純	富岡製糸場を愛する会
副部会長	宮沢 展彦	富岡市議会
部会員	青柳 ふじ	富岡市婦人会連合会
〃	石井 充夫	富岡製糸場を愛する会
〃	井上 均	群馬県信用組合
〃	入山 寛之	絹の道ぐんま連絡協議会
〃	植村 昭男	富岡市区長会
〃	岡田 廣志	富岡商工会議所
〃	岡野 光利	富岡ライオンズクラブ
〃	小林 富士夫	貫前神社
〃	斎藤 辰雄	富岡製糸場周辺まちづくり協議会
〃	佐藤 憲一	富岡甘楽物産振興協会
〃	佐藤 三千子	富岡商工会議所女性会
〃	関 利行	富岡製糸場解説員の会
〃	高橋 純一	甘楽富岡蚕桑研究会
〃	高橋 洋一	富岡市文化協会
〃	寺田 侑弘	富岡商工会議所
〃	畑村 繁	甘楽富岡農業協同組合
〃	三田 昭夫	しのめ信用金庫
〃	宮下 貴志	しのめ信用金庫
〃	森 幸一	富岡かぶらロータリークラブ
〃	柳 澤 敦	富岡市議会
アドバイザー	山田 勝博	マルキンアド(株) 代表取締役社長
〃	斉藤 郁司	マルキンアド(株) クリエイティブプランナー
〃	飯盛 豊	ヴァイレレワークス日東(株) 代表取締役 デジタルマーケティングコンサルタント
〃	金澤 謹司	ヴァイレレワークス日東(株) WEBプロデューサー
〃	斎藤 勇武	富岡市景観アドバイザー・(社)群馬建築士会富岡支部
〃	大塚 浩之	富岡市都市建設部都市計画課まちづくり係
〃	小菅 仁志	富岡市都市建設部都市計画課まちづくり係
オブザーバー	萩原 雅之	富岡市産業経済部商工課長
〃	上原 茂文	富岡市産業経済部観光課長

## 歴史的建造物（旧吉野呉服店） 整備活用計画案（3案）



\*本冊子とはみおか観光まちづくり推進協議会が実施した歴史的建造物整備活用検討部会の活動内容をまとめた報告書であり写真等もあくまでも参考資料として掲載しております。

平成22年11月

とみおか観光まちづくり推進協議会

## 1 事業目的

富岡市まちづくり計画では、市の中心市街地に点在する伝統的な町家建築や蔵などの歴史的建造物について、情緒ある街並み形成の観点から保全していくとともに、市民活動や商業活動、観光振興などの拠点として活用し、また、これらの歴史的建造物と富岡製糸場とを関連づけることにより、街なかに回遊性を持たせて歩いて楽しい街とするとしている。

とみおか観光まちづくり推進協議会では、富岡市まちづくり計画を具現化する一助とするために、歴史的建造物(旧吉野呉服店)の有効な活用計画(3案)の立案を行った。



## 2 事業主体

とみおか観光まちづくり推進協議会 歴史的建造物整備活用検討部会

## 3 事業内容

・旧吉野呉服店利活用に関するアンケートの実施

期間 8月～9月

対象 第9行政区の全戸 120戸

商工会議所会員

とみおか観光まちづくり推進協議会所属団体

・旧吉野呉服店現地勉強会

日時 8月16日

講師 NPO法人 景観建築研究機構理事

(株)須田建築計画工房 代表取締役 須田 睿一 氏

・活用案検討会議

場所 富岡商工会館

日時 第1回 9月27日 第2回 10月20日 第3回 11月11日

・歴史的建造物(旧吉野呉服店)活用計画書(3案)とりまとめ作成

・事業内容をホームページ掲載して市民に公開

## 富岡市のまちづくりとのかかわり

- 平成19年、富岡製糸場が世界遺産暫定リストに記載され、平成24年の世界遺産登録を見据えたまちづくりが進行中。
- 平成20年度、まちの団体や有志が集まり、市の協力を得ながら「とみおか観光まちづくり推進協議会」の設立準備開始。以来、市民と行政の連携によるまちづくりの協議がスタート。
- 平成21年度、国が進める「地方の元気再生事業」の支援案件に選定され、「とみおか観光まちづくり推進協議会」が中心となり、富岡製糸場を核に観光を基軸とする「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりが本格的に移働。
- 平成22年度、観光まちづくりの推進には街中の回遊が重要との認識のもと、上町にある「旧吉野呉服店」の活用検討を行い、利活用案を報告書にまとめる本事業が実施されることになる。

## 観光まちづくりの課題 ～旧吉野呉服店の利活用を通じて実現したいこと～

- ①観光客の増加を実現する。
  - ・製糸場以外にも観光地として魅力的になることで、富岡を訪れる観光客をもっと増やしたい。
  - ・認知度アップを図り、軽井沢にきている観光客を、富岡まで引っぱってきたい。
  - ・大型バスツアー等の時間調整地ではなく、第一の目的地(デスティネーション)になりたい。
  - ・製糸場だけでなく街中も回遊したくなるよう街を整備し、観光客にできるだけ長い時間滞在してもらうことで、富岡のいい処や街並みを感じたり、知ってもらいたい。
  - ・上記等によってリピーターを増やしたい。
- ②市民のまちづくりへの参加を実現する。
  - ・観光客だけでなく、市民にとっても喜ばれ、気軽に利用できる施設を創出することで、市民がまちづくりに興味を持つきっかけにしたい。
  - ・街中に賑わいが生まれ、地域「経済」の活性化も期待できそうな具体案を提示することで、市民のまちづくりに対する意識改革(イメージチェンジ)を図りたい。

**①観光客の増加と、②まちづくりへの積極的な市民参加を実現することを通じて、市の観光まちづくりを地域一体となって盛り上げ、富岡市の活性化につなげたい。**



## 「旧吉野呉服店」利活用案コンセプト

- 観光客が高速を降りてでもわざわざ寄ってみたいと思ったり、県内の高崎や前橋からでも来なくなるほど魅力的なコンテンツであること。
- 観光客も富岡市民も、気軽に寄れ、人・物・世界が交わる場になること。
- 富岡らしさを伝統と新しさが融合した形で体感できる場であること。
- 富岡製糸場の世界遺産登録に向けて、まず第一にお客さんに歓迎される案であること。
- 旧吉野で採用されなくても、他の場所で検討してみたいと思えるような斬新なアイデアがあること。

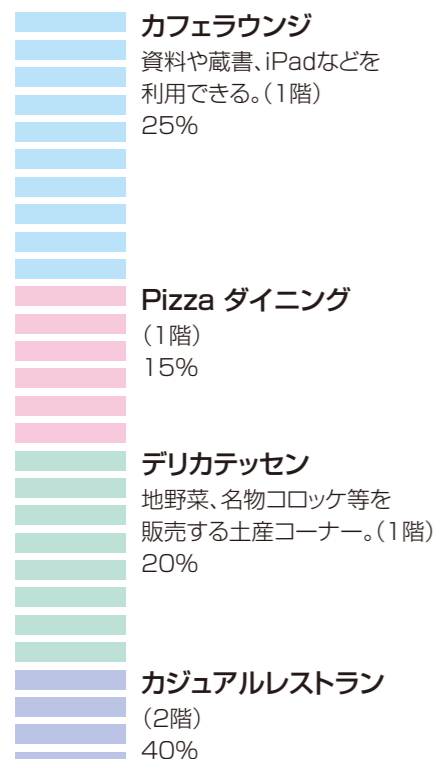
## COLLABORATION DESIGN-SIGHT 吉野のデザインサイト

テーマは、再生。古きよき日本の伝統技法と現代の建築デザインを融合、建物自体がガラスを活用したオブジェ。



### プラン1: コラボレ案

東京の有名シェフのプロデュースによるレストラン&カジュアルダイニングを中心とする飲食施設案。美味しい料理や飲み物をお洒落な雰囲気の中で味わえ、観光客も市民も食べに行ってみたくなる場所。



#### 正面は竣工当時をできるだけ復元

豪華な呉服店だった当時の姿を、認知していただけるように。現在の街並みに合せると同時に、建物自体がオブジェである。

#### 歩いてきたので、まずは一服 1階部分は、Welcome+くつろぎの空間

中庭までが一望となるカフェスタイルの空間。中央に、自家製パンも焼けるオープンキッチンを設置。テイクアウト、イートインが可能。オリジナルカップ、マグも販売。内装は、絹の街を彷彿とさせるファブリックによるコラーージュとモダンな照明でリズム感を醸成。壁面を大きく利用したアートも展開。中庭の採光との調和を考慮した、落ち着いた明るさ。繭の形をしたフレンチファストフード「とみおかのまゆクロケット」をお召し上がりください。



#### 暖かさと採光を兼ねた中庭

ガラスの屋根を配し、天気を問わずくつろげる空間。冬は、硝子戸を閉めてあたたか。中庭を中心として、カフェテーブル、カフェチェアを配置。読書、パソコンなどが終日たのしめるように。椅子も、デザインは一緒だが、素材が異なるもの(カバー)を利用して、布の展示会の様な感じに。現存する書棚をインテリアに。テーブルには、メニューに付随した建物の歴史と改築コンセプトが、利用している椅子や壁の布の説明とともに。

#### 2階にあがると、光がいっぱいのガラスのレストラン

一部現存するガラスの踏み板を強化して残し、ガラス構造コンセプトの理由とする。現存する貴重な欄間などの工芸品を、ハリ部分等内装に効果的に利用。東京の有名シェフの名前を冠した、地産野菜やブランド豚肉を使った、ランチ+地元の水が主体のカジュアルレストランを想定。1Fの中央厨房で調理したものを上にあげる運用。【ラ・ロシェル-坂井さん】【アルポルト-片岡さん】【ラ・ベットラ-落合さん】などを想定。2Fは現存の母屋2F部分および正面蔵部分まで掘り上げて利用。



#### 奥手前の蔵、もしくは2つの蔵を繋げた形で カジュアルPizzaダイニング

1階はPizzaカジュアルダイニング、地産野菜をふんだんに使った30種類の自慢の石釜焼きのPizza。【ラ・ロシェル-坂井さん】【アルポルト-片岡さん】【ラ・ベットラ-落合さん】などにプロデュースを御願ひする。もちろんイートインでテイクアウトで。



#### お土産販売

イタリアン、フレンチ融合のデリカテッセンの様なコンセプト  
●collavole オリジナル:焼きたてパン、オリジナルハム、オリーブ、チーズ  
●富岡地野菜  
●オリジナルコーヒーマグ(スターボックスでも利用可能)  
●エコかばん



#### iPadで地元散策

初回登録のみで、iPadを無償貸し出し。ルート検索機能付きSDカード、GPS機能を使って、富岡市内に携帯させて散策をサポート。もちろん、施設内でのんびり遊んでもOK。



#### Collecca機能で、 イメージカードラリー

iPhoneをお持ちのお客様には、ここだけのカード取得が可能な最新写真ブログ「コレッカ」によるイメージカードラリーが可能。富岡製糸場、碓氷峠鉄道文化むらなどのポイントに掲示されているID入力で、オリジナルカードを取得。10枚あつめると、特別カードももらえちゃう。もちろん、各ポイントでの機能訴求も行って、回遊を促進。



#### 新名物「とみおかのまゆクロケット」

クロケット。実はフランス料理。フランスリヨンと縁がある富岡の新名物にいかがでしょうか。持ちやすい繭の形に似たクロケットは、車内でわいわい食べられるし、今晚のおかずにも。軽井沢への往路、復路でご利用ください。

- キッズクロケット(熱くない、小ぶりのクロケットがいっぱい!お子様も大喜び)
- おかずクロケット(車内でのファストフードに)
- チーズ+パンチェッタ クロケット(ワインと相性抜群!)
- 肉汁一杯のメンチクロケット(ビール、ワインと相性抜群!)
- 辛口カレークロケット(1辛~5辛 あなたは、何辛?)

ハムカツ、ステーキカツ、トンカツも兄弟で仲間入り  
既存店でも展開して、街ぐるみでいろいろなクロケットを!

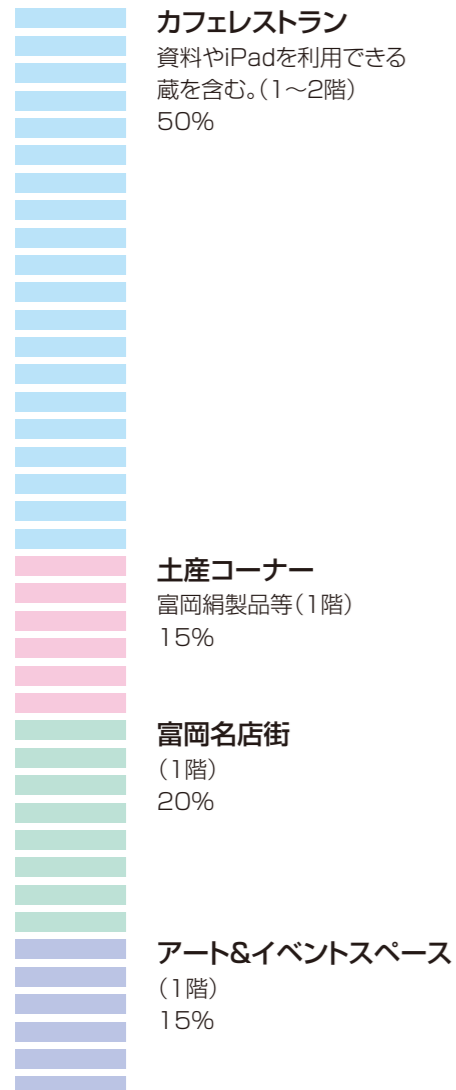
## THE FUKKURA Café & X(Crossing)

テーマは、旅人のオアシス。人と時、そして世界 が交わる交差点。上州とみおかの歴史の息吹を感じながら休憩できる場所。



### プラン2:ふくら案

カフェを中心にアートやイベント体験もできる複合施設案。  
壁に飾られた絵画を見ながら歩き疲れた足を休めたり  
コーヒーを飲みながら友達とおしゃべりを楽しんだり  
観光客にとっても市民にとっても気軽に立ち寄れる憩いの場所。



#### 1階はエントランスにお土産が並び、奥には旅人がいつとき足休めができる品のいいカフェ +αの施設

絹のまち富岡の最盛期を彷彿させる明治風の立派な外観が旅人を建物の中へと誘います。  
そこでは美味しいカフェオレと、サンドイッチ、おだんご等を味わいながらおしゃべりを楽しめます。  
テラス席からレンガの壁のアートウォールに飾られた絵画や屋外スペースで行われているイベントを眺めたり、吉野の資料やiPadを利用して富岡の歴史を調べたり、仏ブランドとコラボした絹製品に触れてみたり、屋内イベントスペースで開催中の福沢一郎展覧会を覗くのもいい。  
そんな富岡らしいおもてなしで、旅人に愉しんで頂きます。



#### 1階 施設概要

- 建物は当時の雰囲気をはできるだけ復元
- 旅人が足と小腹を癒せるカフェラウンジ
- 吉野家の資料やiPadで検索できる資料蔵
- 富岡の絹や工業製品を展示・販売するギャラリー
- 壁にアートも飾る屋外イベントスペース
- 多目的利用できる屋内イベントスペース
- エントランス周辺にはお土産スペースも
- 庭園も緑を感じる憩いの場として開放

#### 2階にあがると、既存のガラスの踏み板や表具のデザインを活かした和モダンな雰囲気の中で、さらにゆったりできる

昭和初期のデザインのソファに身を沈め、「GQ」などの雑誌を読むもよし、1階の資料蔵から借りてきた製糸場の資料を読むもよし、iPadでデジタル探索するも良しのくつろぎのスペース。  
回廊から階下で行われているイベントを見下ろしたり、日本庭園を上から眺めて緑を感じてみたり。  
夜にはバーで群馬の地酒を利き酒で愉しんでみたり、パーティールームを貸切り特別な日を祝うことも可能。



#### 2階 施設概要

- 既存の雰囲気を活かしゆっくりとくつろげる和モダンなカフェ
- 外の空気を感じながらリフレッシュできる回廊
- 夕方から夜にかけて営業するバー
- 貸切り利用もできる個室兼パーティールーム
- 歴史を感じさせる階段

#### 建物は外観、内観共に創業当時の雰囲気を演出

旧吉野呉服店のトラス式構造、ガラスの踏み板等の素材、骨董的価値の高い建具や表具のデザイン等、既存の雰囲気を活かしつつ、絹のまちを表現するために、例えば建物内に絹の幕を垂らすなど、現代的解釈を大胆に融合させ、これからの富岡の息吹を感じさせる建築デザイン&インテリアコーディネートで訪れる旅人や市民の目と心を愉しませる場所へと生まれ変わらせます。



#### 食べ物も飲み物も地元の食材でつくる富岡の銘品を集めた名店街も出現

下仁田葱や孺恋レタス、上州牛、榛名地鶏、神津牧場の牛乳、県内産の季節のフルーツ等、地元の食材でつくったサンドイッチやピザ等のファスト&カジュアルフードを中心とした軽い食事が愉しめるカフェ。バスの出発まで時間がない方にはテイクアウトも可能です。そして富岡市民にとっても平日気軽に立ち寄ってもらえるカフェが理想です。  
また、週替わりで、富岡銘菓や地酒など市内を中心とした名店に出店してもらい富岡名店街として、旅人の好奇心を刺激します。



#### アートを飾りイベントも定期的に絹都の文化と世界がここでクロスする

アートウォールには、絵画の他に、映像を映し出すインスタレーション等の表現スペースとして活用。旅人の目を愉しませます。  
屋外イベントスペースは、絹をテーマにしたファッションショーを実施する際はキャットウォークとして活用する等、奥の屋内イベントスペース&パーティールームと合わせて文化的催事にも多目的に活用できます。  
そしてギャルソンや施設スタッフが身につけているお洒落なシャツ、スカーフ等の富岡製の絹製品も、店内で購入できますので、大切な人へのお土産にどうぞ。



## 富岡時間（絹のように上品な時間）をゆっくり味わっていただく

テーマは、滞在と体験。

ジャパニーズカフェでのんびり過ごしたり、泊まって夜の路地を探検したり、特別な時間を体験できる場所。



### プラン3:絹の蔵案

2階の限定宿泊施設をメインとする滞在型施設案。1階には地場産の食材を使ったメニューが味わえるジャパニーズカフェと、富岡の文化・芸術・産業を体感できるスペースも設け、長時間の滞在を通じて富岡らしさを味わっていただける場所。

**宿泊施設**  
3つの客室、バーラウンジも含む  
(2階)  
50%

**カフェ兼地産地消**  
おふくろさんの大皿食堂  
(1階)  
25%

**富岡名店街コーナー**  
(1階)  
15%

**資料蔵**  
(1階)  
10%



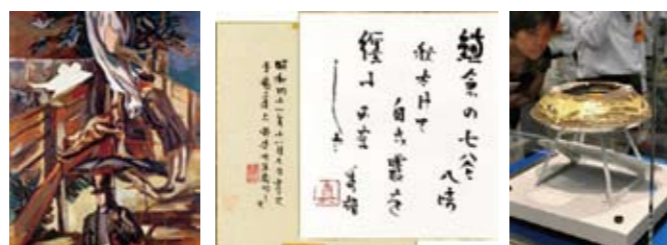
### 外観は、呉服店の意味を現代風にアレンジし、限定の宿としての高級感を演出

富岡製糸場のお膝元で一時代を築いた呉服店だった意味を、ファッション性と先進性の高さを体現していたからと捉え、外観を現代風に解釈して表現。1階の正面入口は旧吉野呉服店の粋な雰囲気をできるだけ復元しつつ、2階が高級旅館であることが外からもわかるように演出。



### 1階はゆったりできるジャパニーズカフェ 地産地消の「おふくろさんの大皿料理」でおもてなし

緋毛氈の床机(しょうぎ)をイメージしたソファに、程良い明るさの照明、落ち着いた雰囲気の中で気軽にちょっとひと休み。日本茶とおだんごに舌鼓……。お腹がすいたら地元の食材でつくった美味しい大皿料理をピュッフェスタイル(好きな物をお皿に自分で盛って食べるスタイル)で味わったりして、富岡の味覚を堪能していただけます。



福沢一郎「他人の恋」 吉野秀雄色紙「鎌倉の七谷八崎 秋たけて白き雲を纏うかなしさ 秀雄」 はやぶさのカプセル

### 富岡が生んだ芸術・文学・最先端に触れる さらに富岡の銘品や名物も体験

カフェではアートや文化や先端科学も感じながら過ごしていただけます。中庭の煉瓦の壁面には福沢一郎の絵画を展示。蔵だった処はライブラリーにして地元の資料と共に、歌人・吉野秀雄の作品集も閲覧。さらにIHエアロスペース関連ブースでははやぶさのカプセルやロケットの実物(部品)に触れる宇宙体験も。地元の銘菓や銘品、名物の土産など販売する富岡名店街と合わせ富岡らしい風を感じていただけます。

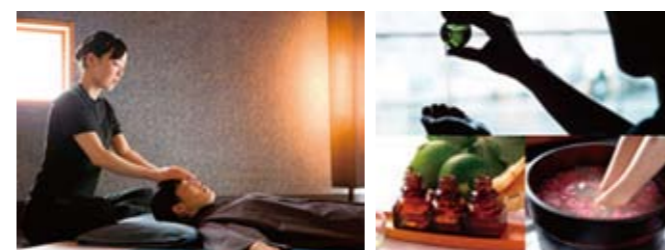
### 2階は3部屋だけの宿泊施設 現代に再現された絹都の高級旅館をイメージ

昔の粋人がお忍びで逗留したような隠れ家的な上質の宿。建具・表具など客室の調度品は全て旧吉野呉服店をヒントに新たにデザインし直したオリジナル。絹の街に相応しい上質な肌触りの寝具やテキスタイルに包まれながら静かに流れゆく富岡時間(silky time)をゆっくり体験していただけます。



### 宿泊客どうしがふれあい、地元の人も 自然に交わるバーラウンジ

お連れの方とソファでくつろぎながらグラスを傾けたり、富岡関連の蔵書に目を通しつつコーヒーを口にしたりとプライベート感たっぷりの贅沢空間です。気がつけばアートや文学の話題で宿泊客と地元の客の間に自然に会話も生まれていたりする知的な大人の社交場です。また一歩外に出れば、昔の面影を残す細い路地を歩いて夜の街へ。



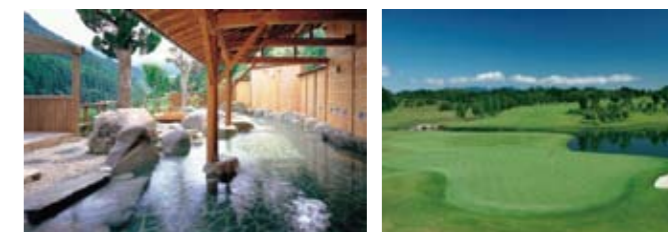
### 絹のように滑らかで上品な富岡時間を 味わっていただくために

滞在中はご希望に応じて、指圧、アロマ、オイルトリートメント、マッサージなどで体だけでなく、心までリラックスしていただけます。そして、就寝の際は富岡シルクのシーツや毛布に包まれて深く静かな眠りをぐっすり体験していただけます。シーツや枕カバーの肌触りが気に入れば、もちろんお土産にご購入もいただけます。



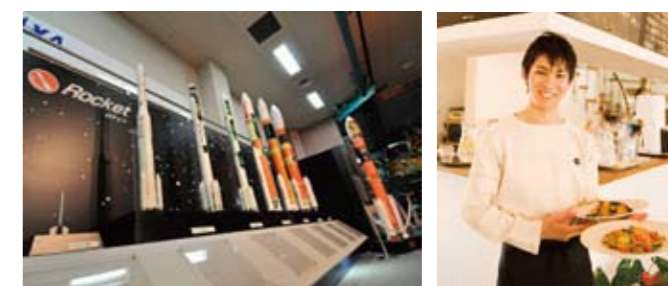
### クラシックカーでお出迎え 周辺観光もちろんお供させていただきます

お客様に特別な富岡滞在を体験していただくため、お出迎えから、周辺観光、送迎まで、クラシックの名車などの素敵な車を手配し、最高級の富岡時間をご案内させていただきます。



### 周辺のゴルフ場や温泉に出かけ、 帰りに地元の名店でオススメを味わう

宿を起点に、周辺に点在するゴルフコースを愉しんだり、上州の名湯に浸かって疲れを癒した後は、地元のドライバーだからこそ知っている隠れた名所や名店にお客様をお連れして群馬ならではの体験や美味、お土産物品に触れていただけます。



### 文化だけでなく、富岡の工業や産業を発信していく 基地としても機能

小惑星探査機「はやぶさ」で一躍有名になったIHエアロスペースの先端科学技術に触れながら宇宙を体験できるコーナーを設け富岡工業の先進性を発信したり、スタッフが身につけるシルクのシャツや、宿で使う絹毛布などを「富岡シルク」としてブランド化し、富岡製糸場の世界遺産登録に向けてファッション産業で絹の都として復興していく姿を世界へ発信していく基地にもなります。

## アンケート結果   回収件数124世帯

<b>Q1:回答者性別</b>	<b>年齢別</b>				
男性	66	～19才	0	50代	23
女性	45	20代	1	60代	40
記入忘れ	13	30代	9	70才～	31
		40代	12	記入忘れ	5

<b>Q2:旧吉野呉服店の利活用方法にふさわしいものは? (複数回答・名)</b>	
1. 富岡市民の憩いの場	17
2. 富岡の歴史を語る教育施設	33
3. 観光客の休憩スポット	49
4. テーマパークや複合施設等の観光スポット	41
5. 保存はするが利活用はしない	6
6. その他	8

<b>Q3:観光スポットとして活用する場合どんな案が希望? (複数回答・名)</b>	
1. フランス料理や富岡名物料理等の特色あるレストラン	43
2. ファッションショー等を開催するイベント会場	9
3. 新人デザイナーの衣服等売るショップ街	12
4. 福沢一郎等富岡らしいアートイベントを行うギャラリー	29
5. 富岡名物が並ぶ土産物屋	34
6. 市内の企業が観光客にPRする宣伝ブース	12
7. 観光案内ツールや自転車タクシーなどの乗り降り口	28
8. その他アイデア	3

<b>Q4:富岡市街地の街並みを整備するなら何時代? (複数回答・名)</b>	
1. 富岡製糸場に象徴される明治時代風	49
2. 最近渋川駅でも採用された大正ロマン風	5
3. 映画「三丁目の夕日」などでも人気の昭和モダニズム風	11
4. これからも未来も意識した現代的平成風	16
5. 富岡製糸場にゆかりのあるフランス・リヨン地方風	10
6. その他	4

<b>Q6:富岡の未来はどんな街に発展して欲しいか (複数回答・名)</b>	
1. もっと企業が増えて産業の街に	20
2. もっと観光客が増えて観光の街に	21
3. 街並みを整えて文化が薫る街に	43
4. もっと人口が増えて大きな街に	6
5. 富岡製糸場の頃のような賑やかな街に戻って欲しい	14
6. このままでいい	3

### ～主なコメント一覧～

#### ●どんな施設が市内にあって欲しいか。

- 美味しいレストランやお洒落なカフェなど、市外から来た客人を連れて行ける素敵な場所
- B級グルメが全国的に流行っているので、B級グルメが味わえるテーマパークや屋台村
- 福沢一郎の絵画と吉野秀雄の歌など、富岡に所縁のある芸術・文学を展示する施設
- 絹をテーマに、繭～生糸～織物の工程を体験できたり、絹製品を購入できる施設
- はやぶさのカプセルや、宇宙を感じられる体験ができるIHIエアロスペースの関連施設
- 映画館やアウトレットモールなどがある複合商業施設
- 温泉や足湯などが体験できる施設
- 軽井沢銀座のような商店街

#### ●まちづくりのアイデア

- 地元の素材を使ったB級グルメやご当地グルメを街ぐるみで開発し、全国に発信する。
- 北関東No.1になれる何か（アウトレット、動物園、花火大会など）を

#### ●その他の意見

ギャラリー、福沢一郎等の作品を飾る美術館、ミニ映画館、貸衣装屋（明治時代の衣装など）＋記念撮影写真館、更地にして売る、建物が危険だから保存するだけでいい、吉野秀雄さんの資料展示、どうせ予算をかけるなら製糸場内に応接室や宿泊施設

#### ●その他の意見

ひとつだけでは人が集まらないので何でもやったらいい、歴史資料館と真綿フトンづくりが体験できるブース、吉野秀雄さんの資料館、貸衣装で大正ロマンや女工の格好をして記念撮影、B級グルメのテーマパークや屋台村、富岡の江戸～昭和の風俗を含む資料展示館、市民が寄ってみたいなる大ホール、ワンコイン（500円）で楽しめる歌声喫茶、周辺の観光パンフレットを配布するスペース、呉服を展示して呉服のまちのシンボルとするスペース

#### ●その他の意見

若い女性の感性を最大限活かした民間主導のまちづくり、が必要。若者がリターンできる息の長いものがない、西洋ヨーロッパ風、街並みが全てレンガづくりの道、壁、家の一部など、輪島のような街並み、小江戸・川越的なシステムをモデルとする、新しさやファッション性のある部分も必要、昔の姿にもどす、高山市や古川（現飛騨市）のようなまちづくり

#### ●その他の意見

開発はほどほどでいい、西洋ヨーロッパ風、街並みが全てレンガづくりの道、壁、家の一部など、子供たちが胸張って自慢できるまち

#### ●その他の意見

つくり、全国にアピールする。
・市街地を回遊できるように、お土産ゾーンや飲食店ゾーンなどに分けて店同士で競争させる。
・駐車場の無料化。製糸場の入場料もかかるので無料になれば時間を気にせず街中を回遊できる。
・城町の通りの店に「富岡製糸 世界遺産 ○○商店」という統一看板をかけ、歩行者天国にする。
・大規模キャンプ場をつくり、高速道路ICの利便性と都心からの距離で、PRする。

#### ●今後のまちづくりのポイント

- 無私で感性のあるリーダーのもと、市民と行政が連携し、近隣地域とも協力し合う体制づくりが重要。
- 若い女性の感性を最大限に活かした民間主導のまちづくりが必要。
- 観光客のことだけを考えるのではなく、地元住民が住みやすい環境を整備することも大切。
- 今後も旧吉野呉服店のような「地域の宝に光をあてていく」ことが大事。

### 活用検討部会　～会議での主な意見～

#### ●旧吉野呉服店現地勉強会（8月16日実施）

- 建物や蔵がいくつかあるが、それぞれがいつできたかについては棟札がないので、おそらく明治32年に着工、33年に竣工。蔵と母屋も似たようなつくりなのでおそらく同時期にできたものと推測される。
- 壁のレンガは富岡製糸場と同じ甘楽町福島産のものである。明治5年に官営富岡製糸工場を作る際、福島の瓦屋がレンガを焼いたのだが、その時に作ったものが余っていてそれを使ったという話もある。
- 1階の売り場、土間、お店づくり、階段、など当時の資料は吉野さんの100年史にも残っていない。
- 竣工当時の建物を復元しながら利活用する場合は用途変更と確認申請が必要になるが、現行の建築法に適した耐震構造にするために基礎から屋根まで作り直さなければならないので、かなり大変である。しかも復元には伝統的な技術を持った職人の協力も必要なのでさらに大変な作業になる。

#### ●第1回検討部会（9月27日開催）

- 第9区のアンケート結果の発表後、東京の有名シェフによるレストラン案と、カフェで寛ぎながらアートやイベントも楽しめる複合施設案を提示し、概ね理解される。
- 歌人吉野秀雄さんの作品も富岡市の文化人として福沢一郎さんの作品と共に展示するのはどうか。富岡市の文化を発信できると同時に、県外から来た人も喜ぶと思う。
- 宿泊施設はどうか。泊まってもらい、夜、市街地にでかけて、路地の雰囲気を感じてもらえたり、街なかを楽しんだり、他の観光客や地元の人と交わったりする人が増えればいい。限定で、高級なサービスを提供したり宿を拠点に周辺の観光スポットや名店を案内することで、観光客が競って予約したくなるような宿にできればそれでまた観光客を呼べる街の目玉になる。
- 宿泊施設だと24時間運営になり、実際誰がやるのという話になるが、それは次のステップと考えている。現時点では、いい案なんだけど吉野でやるには？という案も将来的に他の場所なら可能かもしれないので、いろんな案を出していく価値はあると思う。そういう意味も含め3案をまとめる方向性で話している。

#### ●第2回検討部会（10月20日開催）

- 第9区以外も含めたアンケートの最終結果を説明後、宿泊施設とカフェの複合施設案を提示し概ね理解される。
- 市や商工会議所の立場や、地元事業者の利害を配慮した施設は失敗する可能性が高いので、第一にお客さんに支持される・歓迎される施設を3案とも目指している。地元の事業者とあえてぶつかる提案になっている。外を入れることで中は抵抗することになると思うが、ぶつかることで葛藤が生まれ、それを乗り越えることができれば、本当のまちづくりが一步進むと考えている。
- いずれにしても誰にどんな風に喜んでもらうかがポイントになるが、アンケートの結果を踏まえても、いい案がでてきている。いかにお客さんを呼び込むかに集中していいと思う。
- お客さんに街を印象付けるのは街並みだと思うので、製糸場ありきではなく、他にもこういう楽しみがあるよと街なかの回遊を誘発するきっかけになればいい。街を觀てもらうために吉野さんの施設をどう活用すればいいか。吉野を目当てに来て、そう言えば近くに、有名な富岡製糸場もある、ちょっと寄って行こうか、という逆の流れも生まれるのが理想的。
- イメージコンセプトを残しつつ、現代に合うように改装するのがいいと思う。外観的にはほぼ現状の形態を保存しつつ現代風にアレンジする方法が良いと思う。

#### ●第3回検討部会（11月11日開催）

- これまで実施してきた本検討部会の活動内容をまとめた報告書を確認しながら最終的なとりまとめを行い大筋で承認される。
- 従来の箱モノづくりとは違い「何がやりたいのか、どうなりたいのか」という、箱ありきではないところからの発想が大事。人は面白い所に移動するので、胸をはって「富岡の○○です!」と挨拶できるような、市民が自分のまちを面白いと思えるような町づくりをしていきたい。
- 市民の皆さんの率直な意見が出ていて感じる。この案の中で唯一弱点をあげるとすれば実現性だが、運営や組織作りについてもある程度の方向性があればいいと思う。
- そもそもタイトルが歴史的建造物ということなので、現代風の活用と保守的な保存という二つの側面があると思うが、全部現代風にアレンジするだけではなく、外観も内観も伝統的なものは保存して残すという意識が重視されるべきだと考えている。
- あれもこれもとなると上手いかなと思う。役割や目的をはっきりさせ人を呼べるようにするには何をすべきかを考え、人が集まれば地域に経済効果が生まれるという発想で、運営に関しても施設単体でのP L（損益）バランスシートだけでなく観光まちづくりのトータルのな位置づけのシンボルマークとして考え、人が集まり街なかの回遊性を上げることを通じて、地域全体の活性化に有益な経済効果を上げることが実現できればいいのではないかと思う。
- 旧吉野呉服店をいかに利活用していくか、つまり行政があの土地建物の取得に向けて、テーブルに乗せるか乗せないかを判断する資料ができたと思う。基本的にはいかに利活用の方向に持って行って、まちの回遊性をはかるというのが目的だが、この提案書はこれからのまちづくりに大きな影響を与えるひとつのステップであると考えている。例えば、B級グルメのコロッケやユビキタスを実現するデジタルデバイス活用術など、今後検討すべきソフトも詰まっており、行政には土地建物を取得および保存する方向に進んでもらうことを期待し、今回の活用案を現実化に向けて進めていければいいと思う。
- 具体的な運営については次のステップだが、受け皿となるような組織をつくるが必要になってくる。例えば、「とみおか観光まちづくり推進協議会」の下部組織として、N P Oになった「富岡製糸場を愛する会」や市や商工会議所や民間からも出資するような民間主導型の受け皿会社をつくり、連携して運営する形態ができればいいと思う。